

高齢者に選ばれる居住環境プラン検討グループ

【中間報告 H20.7.9】

日本一のふるさと「しまね」への交流・移住促進プロジェクト「きんちやい、ようござった、だんだん PJ」

I. 県の特徴・ターゲット

1. 魅力

- ①だんだんと伝わる人の優しさ
- ②古き良き日本の面影
- ③四季の移ろいを感じる自然・空間・食

2. つよみ

- ①安全・安心な暮らし
- ②女性の平均寿命は全国トップクラス
- ③豊富な高齢者向けセミナー

3. ターゲット

元気な高齢者と家族 (アクティブシニア)

- ・心豊かな島根ファンの方
- ・島根にご縁のある方
- ・島根で働きたい方

4 交流移住先

①まち【利便性】

※首都・近畿・山陽

②農村【二地域】

※山陽

③離島【癒し】

※首都・近畿

5. 生活

- ①住居費+食費
夫婦 年 210~270 万円
単身 年 125~170 万円
- ②暮らしやすい物価指数
東京 100.0 大阪 96.5
島根 91.7 【指数】

※県内の適合高齢者専用賃貸住宅

II. 経済効果等

1. 経済効果 ※1000人が移住し、約20年間暮らした場合

約500億円の経済効果!

2. 新たな雇用創出

※移住者を支える関連産業の新たな雇用創出

延べ約4000人の雇用

3. 人財 (人材) 交流移住によるネットワーク効果 (人が人を呼ぶ)

※国内キーマンの交流移住による誘客・人の集積によるブランド化や意識改革といった波及効果。

○産業 ○農林漁業 ○土木 ○医療・福祉

III. 都市住民ニーズと5つの提案

1. 都市住民のニーズ	2. 県の現状 ※UIターン促進事業
(1)情報収集・相談窓口	(1)情報提供 ○知事からの手紙 ○HP・情報誌・県外事務所
(2)住居・住環境の安全・安心	(2)暮らしサポート ○交流 (田舎ツーリズム) ○移住 (暮らし体験)
(3)就職機会・地域貢献	(3)就職支援 ○求人開拓・マッチング
(4)余暇・生涯学習文化活動	
(5)移動の利便性	

提

案

(1)しまね魅力・情報発信プロジェクト

- ①情報発信の一元化【a 専用の窓口・情報 b 住環境 c 就職支援 d 生涯学習 e 医療・福祉 f 金融】
- ②交流移住プロデューサー・研究者の設置 (専門誌編集長) ③県外セミナーの開催 ④全国組織等との連携
- ⑤移住者フォローアップの強化 ⑥eアクア (総合電子ポイント制度) の創設

(2)しまねゆとり住環境支援プロジェクト

- ①高齢者向けまちづくりコンテスト (徒歩で生活できるまちづくりについて「県内外からの公募方式」)
- ②空き家 (古民家) の再利用と移住者の受け入れ
- ③良質な民間賃貸住宅の供給促進 (地域医療と連携した安全・安心な適合高齢者専用賃貸住宅の供給特区)
- ④日常生活サポート支援 (NPO 等による支援、医療・福祉の質の向上)

(3)しまね就業・地域貢献支援プロジェクト

- ①高齢者の就業マッチング強化 ②モデル事業者の表彰制度 ③新商品開発への参加、起業・創業支援
- ④先人に学ぶ技術伝承研修 (IT、ものづくり等) ⑤知識・経験を活かした教育サポート

(4)しまね癒し空間創造プロジェクト

- ①森林・温泉・農園・古民家等の癒し拠点の整備
- ②付加価値の高い農林水産振興、食の安全・安心【県食材を活用した薬膳 (健康寿命・メタボ対策)】
- ③文化・スポーツ振興・ショッピングゾーンの強化、県営施設周遊パスポートの創設 (eアクアの活用)

(5)しまね移住・交流アクセス向上プロジェクト

- ①一次交通の維持・向上 (航空会社等の電子ポイントとeアクアの相互交換等の連携)
- ②二次交通等の向上 (予約バス・バス専用道路) ③高速道路・国道の整備 (看板・歩道の改善)